



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤマダコーポレーション
コード番号 6392 URL <http://www.yamadacorp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田 昌太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 村瀬 博樹

TEL 03-3777-5101

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,652	0.5	407	△26.6	457	△18.0	308	△16.4
27年3月期第2四半期	4,627	7.7	555	18.7	558	6.5	368	19.6

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 320百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 416百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	25.73	—
27年3月期第2四半期	30.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	10,657	7,110	64.2
27年3月期	10,894	6,874	60.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 6,845百万円 27年3月期 6,610百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
28年3月期	—	6.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	1.1	1,200	△11.8	1,200	△13.4	820	△12.7	68.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	12,000,000 株	27年3月期	12,000,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	25,072 株	27年3月期	24,320 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	11,975,237 株	27年3月期2Q	11,976,332 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中であり、

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済の動向としては、米国では消費が引き続き堅調に推移しているものの、生産・投資に減速化が見られ、欧州でも緩い回復が続いているが投資の動きは鈍く、また中国をはじめとする新興国でも減速傾向にあるなど、世界経済全体としては、緩やかな回復傾向ながら先行きに不透明感は広がっております。

一方日本経済は、円安、原油安あるいは経済政策を背景に回復基調が続いているが、輸出や設備投資の鈍化傾向など景気の下振れリスクも懸念されております。

こうした中、当社グループにおいては、オートモティブ部門は、国内主体に自動車整備関連市場などで安定的に推移いたしました。また、インダストリアル部門では主力製品であるダイアフラムポンプにおいて、米国では自動車製造関連向けに伸びた反面、シェールガス、シェールオイル市場は原油安の影響を受け大幅に減少し、欧州では、ドイツ向けが増加した反面、ウクライナ問題などで東欧市場は低調に推移いたしました。また中国では、景気減速による影響が製造業全体に広がりを見せており、売上が減少するなど、世界的にも地域別、産業別で明暗が分かれる傾向が顕著となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は4,652百万円(前年同期比24百万円、0.5%増)となりました。売上高を部門別にみますと、オートモティブ部門は1,188百万円(前年同期比19百万円、1.6%増)、インダストリアル部門は2,804百万円(前年同期比△24百万円、0.9%減)となり、上記部門に属さないサービス部品や修理売上などのその他の部門の売上高は659百万円(前年同期比29百万円、4.7%増)となりました。

利益面では、売上総利益は1,840百万円(前年同期比△29百万円、1.6%減)となり、営業利益は407百万円(前年同期比△147百万円、26.6%減)、経常利益は457百万円(前年同期比△100百万円、18.0%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は308百万円(前年同期比△60百万円、16.4%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は次のとおりであります。

日本における外部顧客に対する売上高は2,618百万円(前年同期比△62百万円、2.3%減)、営業利益は115百万円(前年同期比△198百万円、63.2%減)となりました。米国における外部顧客に対する売上高は1,420百万円(前年同期比81百万円、6.1%増)、営業利益は190百万円(前年同期比△21百万円、10.1%減)となりました。オランダにおける外部顧客に対する売上高は468百万円(前年同期比20百万円、4.7%増)、営業利益は71百万円(前年同期比27百万円、63.3%増)となりました。中国における外部顧客に対する売上高は144百万円(前年同期比△14百万円、9.0%減)、営業利益は13百万円(前年同期比1百万円、9.9%増)となりました。

また、当第2四半期連結累計期間の連結売上高に占める海外売上高は2,329百万円(前年同期比34百万円、1.5%増)で、その割合は50.1%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は10,657百万円となり、前連結会計年度末に比べ237百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少(△241百万円)等によるものであります。

負債合計は3,546百万円となり、前連結会計年度末に比べ473百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等の減少(△159百万円)、支払手形及び買掛金の減少(△111百万円)、長短借入金の減少(△81百万円)、未払金の減少(△76百万円)等によるものであります。

純資産合計は7,110百万円となり、前連結会計年度末に比べ236百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加(224百万円)、為替換算調整勘定の増加(14百万円)等によるものであります。

この結果、自己資本比率は64.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は2,576百万円となり、前連結会計年度末に比べ246百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは125百万円の純収入(前年同期は359百万円の純収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益455百万円、売上債権の減少37百万円等の収入要因があったものの、法人税等の支払額269百万円、仕入債務の減少81百万円等の支出要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは196百万円の純支出(前年同期は224百万円の純支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による199百万円等の支出要因があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは179百万円の純支出(前年同期は35百万円の純収入)となりました。これは主に短期借入金の増加127百万円等の収入要因があったものの、長短借入金の返済による208百万円、配当金の支払による81百万円等の支出要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績予想につきましては、平成27年5月14日の「平成27年3月期決算短信」発表時に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,792,528	2,551,194
受取手形及び売掛金	1,734,978	1,699,458
有価証券	50,825	50,833
商品及び製品	1,414,379	1,427,980
仕掛品	273,947	335,209
原材料及び貯蔵品	387,134	434,594
繰延税金資産	182,594	173,409
その他	158,840	116,123
貸倒引当金	△7,708	△8,384
流動資産合計	6,987,521	6,780,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,665,221	1,619,468
土地	1,194,666	1,196,686
その他（純額）	588,872	627,261
有形固定資産合計	3,448,759	3,443,416
無形固定資産	37,751	17,860
投資その他の資産	420,682	415,831
固定資産合計	3,907,193	3,877,108
資産合計	10,894,715	10,657,526
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,521,294	1,410,029
短期借入金	98,000	110,000
1年内返済予定の長期借入金	298,329	281,449
未払法人税等	204,199	44,343
賞与引当金	131,257	132,089
未払費用	136,452	135,144
その他	180,751	95,341
流動負債合計	2,570,284	2,208,397
固定負債		
長期借入金	645,881	569,427
繰延税金負債	244,279	241,154
退職給付に係る負債	416,062	410,425
資産除去債務	20,349	20,349
長期未払金	43,200	32,270
その他	80,327	64,946
固定負債合計	1,450,100	1,338,573
負債合計	4,020,384	3,546,971

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	58,187	58,187
利益剰余金	5,686,177	5,910,415
自己株式	△5,144	△5,435
株主資本合計	6,339,220	6,563,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,822	105,184
為替換算調整勘定	161,968	176,850
その他の包括利益累計額合計	270,791	282,035
非支配株主持分	264,319	265,353
純資産合計	6,874,330	7,110,555
負債純資産合計	10,894,715	10,657,526

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,627,279	4,652,147
売上原価	2,756,664	2,811,312
売上総利益	1,870,614	1,840,834
販売費及び一般管理費	1,315,077	1,433,161
営業利益	555,537	407,673
営業外収益		
受取利息	1,192	893
受取配当金	6,925	8,614
負ののれん償却額	2,445	2,445
為替差益	—	27,557
その他	10,641	27,360
営業外収益合計	21,205	66,872
営業外費用		
支払利息	8,121	7,149
売上割引	6,822	6,640
為替差損	3,655	—
その他	15	3,058
営業外費用合計	18,613	16,848
経常利益	558,129	457,697
特別利益		
固定資産売却益	12,209	331
特別利益合計	12,209	331
特別損失		
固定資産処分損	1,079	2,030
特別損失合計	1,079	2,030
税金等調整前四半期純利益	569,258	455,997
法人税、住民税及び事業税	212,810	139,154
法人税等調整額	△9,913	7,741
法人税等合計	202,897	146,895
四半期純利益	366,361	309,102
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,001	1,034
親会社株主に帰属する四半期純利益	368,362	308,068

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	366,361	309,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,684	△3,638
為替換算調整勘定	48,223	14,881
その他の包括利益合計	49,908	11,243
四半期包括利益	416,269	320,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	418,271	319,311
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,001	1,034

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	569,258	455,997
減価償却費	130,289	154,815
負ののれん償却額	△2,445	△2,445
受取利息及び受取配当金	△8,117	△9,508
支払利息	8,121	7,149
売上債権の増減額(△は増加)	85,153	37,682
たな卸資産の増減額(△は増加)	50,930	△111,254
仕入債務の増減額(△は減少)	△95,501	△81,438
その他	△8,634	△58,287
小計	729,054	392,710
利息及び配当金の受取額	8,117	9,508
利息の支払額	△8,051	△7,135
法人税等の支払額	△369,981	△269,950
営業活動によるキャッシュ・フロー	359,138	125,132
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△504	△5,504
定期預金の払戻による収入	500	500
有形固定資産の取得による支出	△265,691	△199,402
有形固定資産の売却による収入	36,734	9,910
投資有価証券の取得による支出	△1,152	△1,307
その他	5,582	△218
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224,530	△196,022
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	157,988	127,000
短期借入金の返済による支出	△147,000	△115,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△285,330	△93,102
配当金の支払額	△74,377	△81,292
その他	△15,437	△16,636
財務活動によるキャッシュ・フロー	35,842	△179,031
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,810	3,591
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	185,260	△246,330
現金及び現金同等物の期首残高	2,442,526	2,822,639
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,627,786	2,576,308

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	米国	オランダ	中国	
売上高					
外部顧客への売上高	2,681,438	1,339,293	447,978	158,567	4,627,279
セグメント間の内部売上高又は振替高	886,760	42,995	6,192	—	935,948
計	3,568,198	1,382,289	454,171	158,567	5,563,227
セグメント利益	314,714	211,528	43,824	12,027	582,094

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	582,094
セグメント間取引消去	14
棚卸資産の調整額	△26,571
四半期連結損益計算書の営業利益	555,537

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	米国	オランダ	中国	
売上高					
外部顧客への売上高	2,618,703	1,420,331	468,874	144,237	4,652,147
セグメント間の内部売上高又は振替高	982,208	31,322	4,193	—	1,017,724
計	3,600,912	1,451,653	473,068	144,237	5,669,871
セグメント利益	115,772	190,248	71,560	13,213	390,794

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	390,794
セグメント間取引消去	△1,859
棚卸資産の調整額	18,737
四半期連結損益計算書の営業利益	407,673